メディカルエンターテインメント®でHappyLifeを叶える!

新しいスタイルのクリニックへ

普段気になっていてもなかなか相談しづらい排尿の症状。悩みを抱えていても、受診をためらっている人も多いのでは？
可児市の『はら泌尿器科クリニック』は、「メディカルエンターテインメント®」をコンセプトに、快適性や通いやすさを実現した新しいスタイルのクリニック。患者の目線で悩みを払拭し、クオリティ・オブ・ライフの向上を叶えてくれます。

\ Welcome! /

マスコットキャラクター
かに しずく®ちゃんがお出迎え。

メインロビーに展示されている、江戸時代から続く多治見市の名窯『幸兵衛窯』の作品。深いブルーの美しさは思わず見惚れてしまうほど。

四季折々のグリーンに彩られた、スタイリッシュな外観が目印。

時代のニーズに合わせた新たな取り組みで「人生を楽しむ」ための医療を提供

可児市の街中に位置し、ギャラリーのようにお洒落な外観が目を引く『はら泌尿器科クリニック』。院内に入ると天井が高く開放的な待合室、座り心地抜群のインテリア、至る所に配された陶芸作品や絵画など、クリニックに訪れたことを忘れさせてくれるような非日常空間が広がります。

2022年にOPENした当院は、『気軽に足を運んでもらえるように』と『メディカルエンターテインメント®』をコンセプトに掲げ、「受診のしやすさ」「待ち時間の居心地の良さ」を追求。待合室やトイレ、診察室はすべて女性用が完備され、プライバシーに配慮されていることも嬉しいポイントです。また、「病状に対して理解を深められるように」と、検査結果や症状を「数値化・可視化」し、画像やデータで分かりやすく治療を提案するスタイルもここならでは。泌尿器科に特化した高い専門知識を活かし、一人ひとりに合わせたオーダーメイドな診療を行ってくれるのも魅力です。

女性外来ではコンシェルジュによるサポートがスタートし、さらに気軽に通えるように！ 気になる症状がある人は『はら泌尿器科クリニック』を訪れて、未来のハッピーライフを叶えてみては。

「患者さんに寄りそい、他にはない新たなクリニックの価値観を創造していきたいです」と話してくれた原浩司院長。

Close up 1

待ち時間が快適になるエンタメ要素が院内の至る所に

「待ち時間も楽しくなる」はクリニックのコンセプトのひとつ。待合室には医療に関する豆知識映像が上映されるモニター、地元作家のアート、モバイルコーナーが設置され、思い思いのひとときを過ごすことができます。

ホテルライクな受付ロビー。落ち着いた上質な雰囲気が漂います。

待合室・診察室にもディスプレイされている『幸兵衛窯』の「青釉」の作品。キュートな動物モチーフにも心癒されます。

カフェカウンターさながらのモバイルコーナー。パソコンも使用でき、時間を有効に使うことができます。

Close up 2

女性コンシェルジュがサポート!気軽に通える要素がいっぱい!

女性外来日には看護師長のコンシェルジュによるサポートがスタート。男女別の待合室など細やかな配慮が行き届いており、気軽に受診することができます。

火曜午後の女性外来日にはコンシェルジュが常在。診察室ではもちろん、受付や待合室でも対応してくれます。

女性専用の待合室。椅子の間にはサイドテーブルが設置され、プライベート感が確保されています。インテリアは可児市の『万寿実家具』のもの。

看護師として豊富な経験を持つ、コンシェルジュの渡邉ゆかりさん。「男性医師に話せないことや分からないことなど、どんなことでもお気軽に声をかけてください。」

Close up 3

異業種との交流による地域に根差した取り組みにも注目

地域企業とのコラボレーションによるいくつもの水滴が、水面に波紋の様に広がり重なっていくことが『はら泌尿器科クリニック』の目指す「メディカルエンターテイメント」の一つです。

イベントなどのプレゼント用に地元企業『ピアリー』と制作をしたオリジナル水筒。

左は栗の香りが楽しい炭酸水「栗の森水」、右はオリジナルブランド水「しずくウォーター」。どちらも『奥長良川名水』とのコラボアイテムで、院内で提供されています。

【 岐阜県　可児市 】

はら泌尿器科クリニック

☎ 0574-66-2855

岐阜県可児市下恵土字針田4130
9:00～12:00 14:00～17:30　火曜の午後は女性専用外来日 13:30～17:00　土曜の午前は9:00～12:30
休 水曜・土曜午後・日曜・祝日

HP　Instagram

インスタ&HPもチェック